

日立と三菱重工の統合交渉で「超」M&Aへ号砲

月刊

BOSS 10

2011

For Business Leaders <http://keieijuku.net/> 定価800円

平成23年10月1日発行 毎月1回1日発行 第26巻 第12号(通巻 第324号) 昭和61年12月8日 第3種郵便物認可

「1業種2社」時代到来

世界と戦う 「超」M&A



ケーススタディ サントリーHD / 三菱ケミカルHD

現代人の悩みのひとつ、腰痛。厚生労働省の統計「有訴者の症状」では、男性で第一位、女性で第二位にあがるなど、いまや国民病といっても過言ではない。腰痛の原因についてはいくつもの説があるが、その大きな要因とされているのが、姿勢の崩れである。そしてそれは、現代人が椅子に座って過ごす時間が長くなったことに関係している。

もともと農耕民族であった日本人は、かがんだ状態でする動作が多く、胸を張るなどの動作が多い狩猟民族の欧米人と異なり、前側の筋肉が発達している。そのため重心が前にかかりやすく、猫背になりやすい。骨格の違いは、道具の使い方によって、例えば、のこぎりひとつを見ても、付いている刃の向きが違うという。そして、椅子もまた西洋の生活から生まれた道具である。

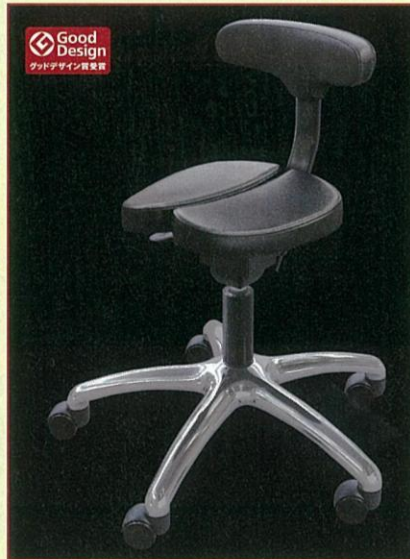
今回紹介する逸品は、そんな日本人の体に合わせて作られた姿勢矯正の椅子「アーユルチェア」だ。

日本人が正しい姿勢で座るために、意識しなければならないのが、「坐骨」である。文字通り「座る骨」と書いて「坐骨」、しかしながら、この坐骨で座れる

vol.19 ◆アーユルチェア◆

健康は姿勢から。
日本人の体に合わせて
作られた姿勢矯正椅子

トレインコーポレーション 0120-007-416
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 3-25-15-4F
<http://www.ayur-chair.com/>



アーユルチェア
上：プレジデント モデル ¥105,000
下：オクトパス ¥48,300

人が減っていると。昔の人の姿勢が良いのは、畳の上で、正座やあぐらをかくときに、きちんと坐骨を使って座っていたからで、それが西洋から椅子文化が入ってきて以降、重心が前にあるため浅く腰かけて背もたれに頼るようになり、

に足を開いて座面をまたいで座る状態を作り出す。これをする事によって、乗馬や相撲の四股踏み姿勢と同様に腰が立ち、自然に背筋がまっすぐ伸びた姿勢になる。この二つの作用によって、尻全体ではなく左右の点「坐骨」で座ること

から好評を得ているという。「椅子は人生のパートナー」である。仕事の効率だけでなく健康も志向する現代のビジネスパーソンにとって、「アーユルチェア」は重要なツールのひとつになることは間違いない。

B

坐骨で座ることを忘れてしまったのである。「アーユルチェア」は、日本人本来の座り方「坐骨座り」に着目して開発された。坐骨で座ることによって、骨盤が立ち、背筋を伸ばした正しい姿勢に導くことで、姿勢を矯正する。

「アーユルチェア」の最大の特徴は二つに分かれた座面と後傾山型座面にある(特許取得済み)。座面を二つに割ることで、左右の尻をそれぞれの座面に意識して乗せ、坐骨のポイントを明確にしながらか座らせる。また、同時に、馬の鞍のような後傾山型座面によって、強制的

ができるようになり姿勢が矯正されるのである。正しい姿勢がもたらす効果としては、腰痛だけでなく、肩こりの予防・症状の緩和。また、他にも代謝機能や効率、運動能力の向上などが挙げられる。使用者の感想の中には、ゴルフのスコアがアップしたという声も聞かれる。

二〇〇五年の発売以来、腰痛に悩む人を中心に売り上げを伸ばし、〇六年には「ロハスデザイン大賞」ノミネート、〇七年には、無駄を省いたシンプルかつコンパクトなデザインが評価されグッドデザイン賞を受賞した。

スタンダードラインの「アーユルオクトパス」シリーズ、子供やお年寄りにおすすめの「アーユルルナ」シリーズ、「アーユルチェア」プレジデントモデルシリーズと、年齢やシーンに合わせてたシリーズがラインアップされている。中でもアップラインである「アーユルチェア」プレジデントモデルは、座面と背もたれにメルクス社製の高級レザー(高級車のシートに使用)、レッグ部にアルミダイキャストを使用した限定商品で、医師や大学教授、経営者など機能も高級感も求めるエグゼクティブクラスから好評を得ているという。